

ドナー登録目標を30万人に新たな出発

—全国骨髓バンクボランティアの集いin新潟—

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒160 東京都新宿区
愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺孝一
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:info@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

全国骨髓バンク推進連絡協議会にはいがた・骨髓バンクを育てる会の主管により、5月17・18日に新潟において、全国骨髓バンクボランティアの集いin新潟を開催しました。全国協議会第8回通常総会は18日に開催され、新たなドナー登録目標を30万人とする宣言を採択して、新たな骨髓バンクの発展を誓い合いました。

昨年の北海道・苫小牧での大会で今年の開催地を代表して、にいがた・骨髓バンクを育てる会の金子副会長は「おいしいお酒と新潟美人がお待ちしております」と挨拶しました。それに呼応したというわけでもないの

でしょうが、今年の新潟大会は大きな盛り上がりを見せる内容となりました。

17日は新潟ユニゾンプラザの大ホールがほぼ満員となる400名が集まりました。海部会長の挨拶に続き、育てる会、新潟市、骨髓移植推進財団、新潟県からのご挨拶をいただきました。さらに、これまでに全国協議会の活動に大きなお力添えをくださった5名(別掲)に、海部会長から感謝状と記念品を贈呈いたしました。引き続き、歌



Hideさんに代わって感謝状の贈呈を受ける弟の松本さん。歌



記念講演をする大石邦子さん。

人でエッセイストの大石邦子さんの記念講演「生きること愛すること」があり、会場は感動の涙でつつまれました。

さらに、懇談会では遠藤允事務局長(ジャーナリスト)の海外骨髓バンク視察報告の後、7つの分科会に分かれて骨髓バンクのかかえる様々な課題に熱っぽい討論が繰り広げられまし



海外骨髓バンク視察報告をする遠藤さん。

午後7時過ぎからは、会場を新潟厚生年金会館に移して懇親会が行われました。全国から集まったボランティア120名が一堂に会し、各地の情報交換と交友を温めました。会場にはさすが新潟、幻のお酒と評判の銘酒がふんだんにずらりと並び、飲みきれずに全員へのお土産となりました。このお酒、翌日の総会に影響の出たメンバーもいたのではないのでしょうか。

第8回通常総会報告

全国協議会の第8回通常総会は、2日目の18日午前9時から新潟ユニゾンプラザ大会議室で開催されました。

大谷貴子副会長の挨拶の後、議長に神奈川の黒部会長を選出して議事が進められました。活動・会計報告、規約改正、本年度の活動計画・予算・役員等の提案すべてが、満場一致で承認されました。

つづいて、新たに30万人のドナー登録者の達成を当面の目標に掲げる「宣言文」(別掲)について参加者の熱心な討論の後、大きな拍手で採択されました。

最後に、新役員(別掲)の紹介があり、新任者から抱負と決意が述べられ、総会は大きな成功のうちに終了しました。



7つのテーマ別に行われた分科会。



ロビーにはにいがたの会手作りの販売小物が。



総会参加者で記念撮影。過去最高の参加者数。

願いは30万人のドナー登録

【前文】

日本骨髓バンクは発足から5年を経過した今年1月、非血縁者間骨髓移植が1000例を突破し、現在は毎月30例ほどのペースで骨髓移植が行われていますが、骨髓バンクを介した骨髓移植を望む患者さんは、毎月100人ほどが新たに出現しています。しかし、残念ながら私たちの骨髓バンクはこうした希望のすべてには応えられず、まだまだ大きく成長していかなければなりません。

設立当初から、私たちは「5年間で10万人のドナー登録」を目標に、全国で骨髓バンク推進運動を進めてきました。10万人のドナー登録目標は「骨髓移植を希望する患者さんの90%にドナーを見いだせる」との予測から設定されたものです。しかし、発足から6年目に至った現在でも、ドナー登録者は8万人を超えた程度にとどまっています。

その一方で、これまでに実施された非血縁者間骨髓移植の研究実績から、遺伝子レベルでのHLA(ヒト白血球型抗原)の適合が移植成績を大きく向上させるとの報告が提出されました。移植カップルの患者さんとドナーのHLAはより厳しい適合性を求められるようになったのです。つまり、かけがえない命の贈り物を、より確実に花開かせるために、さらに大きなドナープールをもった骨髓バンクが必要とされているのです。

しかも、日本では今年から始まった骨髓バンクの国際間検索を通じた提携促進が大きな高まりを見せており、日本の骨髓バンクが国際的な善意のネットワークの中で、果たすべき責任も一層大きくなるものと考えます。

日本骨髓バンク発足から5年を経過した今、私たちはこれまで以上に骨髓バンク推進運動を力強く展開するとともに、広く市民に訴えかけてドナー登録の拡大を果たすため、ここに新たな目標を見据えて運動することを誓います。

★宣言★

私たちは、「日本骨髓バンクのドナー登録について、新たに30万人のドナー登録者達成を当面の目標に掲げ、今後の骨髓バンク推進運動を展開する」ことを、ここに宣言します。

1997年5月
全国骨髓バンクボランティア大会in新潟

新役員一覧

会長	海部 幸世
副会長	大谷 貴子
運営委員	島山 茂房(北海道)
	陽田 秀夫(福島)
	菅 早苗(秋田)
	四方田 淳(宮城)
	野村 正満(東京)
	三田村 真(東京)
	新田 恭平(東京)
	笠原 慶一(埼玉)
	木村 紀(千葉)
	渡辺 孝一(神奈川)
	伊藤 慎吾(神奈川)
	阿部 勲(新潟)
	品川 保弘(富山)
	久保田 良衛(静岡)
	大田 進也(愛知)
	三好 逸二(関西)
	山下 晋司(関西)
	北村 猛(九州)
	向原 祥隆(九州)
	田中 重勝(岐阜)
監事	大塚 和博(会計士)

感謝状贈呈者一覧

- ・ 慈済功德会日本分会殿
- ・ 日本社会福祉弘済会殿
- ・ ライオンズ日本財団殿
- ・ 原田維夫殿(版画家)
- ・ hide殿(XJAPAN)

“患者家族電話相談”

白血病フリーダイヤル

やまい こくふく

0120-81-5929

※番号が変更になりました

毎週土曜日10時～16時

